

平成 26～28 年度に出された『芦屋市立美術博物館運営基本方針』に関する意見等**平成 26 年度第 2 回（平成 27 年 3 月 26 日開催）**

- ① 『運営基本方針』にある「芦屋の貴重な文化遺産」について、具体的には何を指しているか？もう少しはっきり示した方がいいのではないかな。
- ② 『運営基本方針』には、芦屋らしさを具体的に表現すべき。
- ③ 「具体」はすばらしい財産で、もっと広めたいということが『運営基本方針』の中では読み取ることができない。

平成 27 年度第 1 回（平成 27 年 12 月 18 日開催）

- ① 『運営基本方針』には、新しい美術や新しい歴史を蓄積するとか、上手く蓄積し続けていくということが、使命・目的としてもう少し必要。

平成 27 年度第 2 回（平成 28 年 2 月 22 日開催）

- ① 画一的に書いてあって、そのまま他市でも通用する総花的で、無個性なものになっており芦屋というものがまったく感じられない。
- ② 使命と目的がいくつもあるのはおかしい。
- ③ 新たな課題が書かれていない。
- ④ 『運営基本方針』をやり直してみてもどうか。
- ⑤ 使命・目的は、もう少しシンプルなフレーズ、例えば「市民と共に生きる」というような単純なフレーズであったら、議論が発展していくのではないかな。
- ⑥ 使命と目的は、もっとシンプルで良い。

『運営基本方針』に書いてあることがたくさんありすぎて、これを全部まとめてやったら身体も金ももたない。一つのポイントに絞って、それでアピールすべき。

平成 28 年度第 1 回（平成 28 年 10 月 25 日開催）

- ① （事務局）見直しとは、全面的に作り直すべきか。組み立てをかえたり、部分的に省いたり、付け加えたりするべきか。
- ② （事務局）これまで委員から指摘があるようにわかりにくく、シンプルさに欠けると感じる。

- ③ (事務局) 運営基本方針は、内容を頻繁に変えるべきものではない。
- ④ (事務局) 平成29年度中に見直しを完了したい。
- ⑤ 運営基本方針は、おいそれと変えるものではない。だからこそ、議論を重ねてシンボリックなものにしなければならない。
- ⑥ 運営基本方針について、「はじめに」は長すぎる。もっとシャープに、内容をもっと知りたいと思えるようなものにする必要がある。
- ⑦ 解説は、別途であればいい。
- ⑧ 使命・目的については、3項目ほどに整理できると思う。
- ⑨ 使命・目的の(5)は、一番はじめにあるべきである。
- ⑩ 使命・目的の(3)(4)は、使命・目的ではなく、具体的な内容・方法であるため、学習機会の提供のひとつとして吸収できる。
- ⑪ 文化遺産を継承し、そして学習機会を提供し、具体的に市民がそれに参加し、特に子どもたちにつながるというふうに展開できる予感がした。
- ⑫ 具体的方針では、美術部門と歴史部門が棲み分けられている。今は、美術部門・歴史部門・教育普及事業がバラバラに進んでいるが、これらを融合していけると良い。

平成28年度第2回(平成29年3月22日開催)

- ① 進め方として、課題を全面的にやるか、部分的に行くか、基本方針の最初のところは圧縮でき工夫できるのではないか。
- ② 今は実際の運用を後押しする形で、さらに補強されるという方針がないか。
- ③ 「使命と目的」の1・2・3は、これがどういう使命を持っているかを明確に。4・5は具体的に何を芦屋の特徴とするかという内容をわかるように。
- ④ 「今後の課題」は、引き算しても残るくらいの課題を載せていく必要がある。
- ⑤ 「今後の課題」をいかに充実させるか。この協議会で今抱えている課題をしっかりと出す。
- ⑥ 事務局の教育委員会サイドと指定管理者サイドで、この方針をつき合わせた方がいい。
- ⑦ 「今後の課題」の3番、交通アクセスの改善が全くされていない。